

第 24 回日本女性骨盤底医学会

会場開催

日時 7月2日(土)～3日(日)

会場 ソニックシティ(さいたま市大宮区)

テーマ ウロギネコロジー。最新情報を集めよう。

問い合わせ [学会事務局]

埼玉医科大学泌尿器科

〒350-0495 埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷 38

☎ 049-276-1243

[運営事務局]

株式会社 MA コンベンションコンサルティング

〒102-0083 東京都千代田区麹町 4-7 麹町パークサイドビル 402

☎ 03-5275-1191

FAX 03-5275-1192

✉ jfpfm24@macc.jp

HP <https://square.umin.ac.jp/jfpfm24/index.html>

大学院研究科准教授・小児看護専門看護師), 井上絵未(済生会横浜市東部病院, CLS 協会会長・CLS), 笹月桃子(西南女学院大学教授・医師)／2〈九州・沖縄小児看護教育研究会共同開催〉「子どもと家族の反応と行動の意味を捉えて対応を考える基礎教育・臨床教育(仮)」原朱美(関西医科大学看護学部看護学科講師), 松本祐佳里(福岡大学医学部看護学科講師・小児看護専門看護師), 浦部由紀(九州大学病院看護師長・新生児集中ケア認定看護師), 佐野千枝子(姫路聖マリア病院重度障害総合支援センタールルド看護師長)

事前参加登録期間 ～5月31日(火)

参加費 [事前登録] 会員 1 万円, 非会員 1 万 2000 円, 学生 3000 円, [当日登録] 会員 1 万 2000 円, 非会員 1 万 4000 円, 学生 3000 円

※1 会員: 非課税, 非会員・学生: 課税。支払いはクレジットカードのみ。

※2 学生は大学院生や認定看護師教育課程の研修生を除く。参加登録の際, 学生証のデータをアップロードすること。

申し込み方法 下記 WEB サイトより申し込み。

HP <https://www.jschn32.org/registration.html>

問い合わせ先 [運営事務局]

株式会社 JTB コミュニケーションデザイン

〒810-0072 福岡市中央区長浜 1-1-35-4F

☎ 092-751-3244

FAX 092-751-3250

✉ jschn32@jtbcom.co.jp

日本小児看護学会第 32 回学術集会

会場開催

日時 7月9日(土)～10日(日)

会場 福岡国際会議場(福岡市博多区)

テーマ 今, 目の前のこの子にできること—こどもの尊厳, 生活, 未来を守る小児看護実践

プログラム 会長講演「こどもの尊厳, 生活, 未来を守る看護実践—看護実践と基礎教育, 小児看護専門看護師と看護管理者の経験から」三輪富士代(福岡市立こども病院看護部長)／特別講演 1「私がディズニーと, 難病を患う子どもとその家族に教えてもらったコトと, いま, 実践しているコト」大住力(難病の子どもとその家族へ夢を代表理事)／2「天神さまの細道の先—こどもの守り神」味酒安則(太宰府天満宮顧問)／教育講演 1「発達障がいに関する基礎的知識と子どもや家族へのかかわり」山下裕史朗(久留米大学医学部小児科学講座主任教授)／2「母子保健の動向と子育て世代包括支援センターの現状と課題(仮)」厚生労働省子ども家庭局母子保健課, 母子保健指導専門官／シンポジウム 1「看護師さん, ねえ, 見て, 聞いて—日々の実践で子どもの権利を守ること(仮)」三好裕也(認定 NPO 法人ポケットサポート代表理事), 平田美佳(埼玉県立大学看護学科,

第 58 回日本周産期・新生児医学会学術集会

会場開催

日時 7月10日(日)～12日(火)

会場 パシフィコ横浜ノース(横浜市内西区)

テーマ 大容量情報時代の世界といのち

Information and Genesis

問い合わせ先 [主催事務局]

東京大学医学部附属病院小児科

〒113-8655 東京都文京区本郷 7-3-1

[運営事務局]

株式会社サンプラネットメディカルコンベンション事業部

〒112-0012 東京都文京区大塚 3-5-10 住友成

泉小石川ビル 6F

☎ 03-5940-2614

FAX 03-3942-6396

✉ jspnm58@sunpla-mcv.com

HP <http://jspnm58.umin.jp/>

第50回記念 JALC 母乳育児支援学習会 母乳育児—その多彩な魅力の再考

WEB 開催

※ 通訳付き

日時 7月30日(土)13:30~17:45

7月31日(日)9:30~17:15

開催方法 オンライン開催(ウェビナー+オンデマンド配信)

プログラム

[1日目] 「The International Code—is it enough? (『国際規準』:これで十分か?)」【通訳付き】/「母乳分泌の生理学から学ぶ一周産期の現場から母子ひとりひとりにとって最善の支援はなにかを再考する」/「直接授乳の支援—WHO/UNICEFの新しいトレーニングコースから」

[2日目] 「母乳の生化学—基礎的なことから最新の話題まで」/「補完食支援の要点」/「卒乳と仕事復帰—“私らしい選択”を支えること」/「Measuring the ‘Lost mothers’ milk’: the economic value of breastfeeding (『失われた母乳』を試算する:母乳育児の経済的価値)」【通訳付き】/「意見の相違を前進の糧に—支援者/多職種間のコミュニケーション・スキル」

対象 助産師、看護師、保健師、医師、歯科医師、栄養士、保育士など母乳育児を支援する専門家、学生、その他母乳育児支援に興味のある人

参加申し込み 詳細は5月下旬に、事前申し込みは6月初旬に下記WEBサイトより案内。

HP <https://jalc-net.jp>

問い合わせ先

NPO 法人日本ラクテーション・コンサルタント協会

〒981-3133 仙台市泉区泉中央2丁目17-3 フリード泉中央203号

FAX 022-725-8561

✉ info@jalc-net.jp

第21回日本母子看護学会学術集会

WEB 開催

日時 8月6日(土)

開催方法 ライブ配信+オンデマンド配信:8月7日(日)~16日(火)

テーマ アフターコロナにおける母子看護の探究

プログラム 大会長講演「アフターコロナの若年妊婦支援」小川久貴子(東京女子医科大学看護学部教授)/教育講演1「母体の感染」(CLOCMiP:2022年必修研修)正岡直樹(東京女子医科大学産婦人科特任教授)/2「アフターコロナにおける母子看護」井本寛子(日本看護協会常任理事)/3「妊娠と薬」(CLOCMiP:2022年必修研修)長坂安子(東京女子医科大学麻酔科学分野教授)/シンポジウム「アフターコロナにおける母子看護—今・これから」石川紀子(愛育病院看護部長),新井陽子(北里大学看護学部准教授),加藤千晶(杏林大学保健学部准教授),福島富士子(東邦大学看護学部教)

参加登録 下記WEBサイトの参加登録フォームより申し込む。

HP <https://supportoffice.jp/nihonboshikango21/>

参加費 [5月31日まで] 会員6000円, 非会員7000円, 学生2000円, [6月1日~7月22日まで] 会員:7000円, 非会員8000円, 学生2000円

※学生は、助産師資格取得課程以外の大学院生は除く。

問い合わせ先 [大会事務局]

東京女子医科大学看護学部 竹内道子

〒162-8666 東京都新宿区河田町8-1

✉ takeuchi.michiko@twmu.ac.jp

☎ 03-3353-8112(内線31572)

[ZOOM 配信事務局]

有限会社ビジョンブリッジ

〒162-0833 東京都新宿区笹冢町43

✉ nihonboshikango21@supportoffice.jp

☎ 03-5229-6881

FAX 03-5229-6889

※掲載している情報は2022年4月15日時点のものです。
最新情報は主催者にご確認ください。